

第4単元 分数÷分数(A)

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各10)	式 $\frac{5}{6} \div \frac{3}{7} = \frac{35}{18}$ 答 $\frac{35}{18}$ ($1\frac{17}{18}$) kg	知技 被除数、除数が分数の文章題について立式し、問題を解決することができる。	文章から数直線の図をかかせて立式したり、分数の除法の計算の方法を確認したりする。
②	10	$\frac{5}{6} \div \frac{2}{3} = \frac{5}{6} \times \frac{3}{2} = \frac{5}{4}$	知技 分数の除法の計算の仕組みを理解している。	分数の除法の計算のときの分母と分子の関係について、除法の性質を使って、理解できるようにする。
③	① ⑨	① 4 ② 9 ③ 5 ④ 3 ⑤ 4 ⑥ 9 ⑦ 5 ⑧ 3 ⑨ $\frac{20}{27}$ (完答)		
④	① ② (各5)	① < ② >	知技 商と除数の大きさの関係を理解している。	商は常に小さくなると思い込んでいる児童も多い。実際に計算させて確認するとよい。
⑤	① ⑩ (各5)	① $\frac{14}{25}$ ② $\frac{9}{16}$ ③ $\frac{5}{4}$ ($1\frac{1}{4}$) ④ 2 ⑤ 42 ⑥ $\frac{7}{2}$ ($3\frac{1}{2}$) ⑦ $\frac{3}{26}$ ⑧ $\frac{14}{9}$ ($1\frac{5}{9}$) ⑨ $\frac{1}{18}$ ⑩ $\frac{24}{5}$ ($4\frac{4}{5}$)	知技 分数の除法の計算ができる。	分数の除法計算の仕方を再度確認するとともに、途中で約分できる場合は、約分してから計算するように助言する。

第4単元 分数÷分数(B)

問題番号	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 4 ② 4 ③ 4 ④ 3 ⑤ 4 ⑥ 3 ⑦ 4 ⑧ 3 ⑨ $\frac{8}{15}$	思判表 除数の分数を整数化して計算する手順を説明している。	被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらないことに気づかせる。
②	① m ² ② dL ③ $\frac{3}{4}$ ④ $\frac{2}{3}$ 式 $\frac{3}{4} \div \frac{2}{3} = \frac{9}{8}$ 答 $\frac{9}{8}$ ($1\frac{1}{8}$) dL	思判表 問題を解決するための数直線の図のかき方を説明し、それを活用して立式している。	1 m ² を基にしていることから、2本の数直線の図が表す単位を決めさせ、数直線の図を完成させる。その数直線から数量の関係をとらえさせ、立式させるようにする。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	10問以上	9～5問	4～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。